

いま、くしい。(玄園の戸をこぎ明けては家の中へ入らうとする。火はふはげしくこ入るこどがでさあい。)

光子 ああ、ああ、…… (窓の)

こ入るこどがでさあい。火のたのこ入るこどがでさあい。い。

かつら お父さま、お父さま……

木左衛門 ~~玄園の戸をこぎ明けては家の中へ入らうとする。火はふはげしくこ入るこどがでさあい。~~

はげしい火を燃えさす。

六左衛門 旦那さま、旦那さま…… (玄園)

の戸を打ち壊して中へはいらうとする。戸の一部が壊れる。木左衛門 家の中へはいらうとする。火はふはげしくこ入るこどがでさあい。

光子 ああ、ああ…… (狂人のやうにあつ

と火の中へはいらうとする。六左衛門、かつら抱き留める。)

(井原川はいま、さうに流れて立つてゐる。たぎは袂で顔を掩ふ。)

(火はふはげしく。浪の立目。)

一九三〇・一〇